

一般質問 村上満議員 3項目を問う



村上満議員

- 問** 南蔵王線の県道51号の改良は。
- 答** 県に要望を続けながら有効な方法を考えたい。
- 問** 南蔵王大橋の荷重制限と対策。
- 答** 町で行うか国県にお願いすべきか見極めたい。
- 問** 南蔵王エリア開発計画。
- 答** 将来的に町全体の交流人口増加を期待する。

答 県道と町道の振りかえ元にとって有利な方法を考えたい。町としてどういう形でいいのかわからないが、協力を深めていきたい。

問 大河原土木事務所、県土木課への要望を、執行部、議会、横川自治会等三者による要望活動が重要でないかと思うが、町長の考えは。

答 県に早期の改良工事を要請しているが、国道113号の改良を優先させる関係で、少し時間を要するとの回答を得ている。

問 南蔵王線の県道51号の改良について進捗を伺う。

県道南蔵王七ヶ宿線 改良促進

町道大原線 「南蔵王大橋」

南蔵王エリア 開発計画

答 今の制限部分を解除するには新しく橋をかける以外に方法はない。それを町がやったほうがいいのか、国・県にお願いすべきか、その辺を見きわめながら判断していきたい。

問 大型の観光バスやダンブカー、トレーラーなど通行制限をしている車両も通行している。これを解消する工法を町長はどのように考えているか。

答 設計荷重制限は14トン。老朽化により強度不足が生じたため、平成20年、21年に耐震補強修繕工事を行っている。

問 南蔵王大橋は昭和42年に作られ、今年で50年になるが、重量制限は何トンまで耐えられる構造になっているのか。

問 南蔵王エリアの開発の内容について伺う。

答 老朽化が進む南蔵王青年旅村施設のリニューアルと長老湖進入路の拡幅、散策路の整備などを行って、資産を活用したイベントなどを組み合わせることによってエリア全体の観光客増加につなげ、町全体での交流人口増加を期待する。

問 県道51号南蔵王線の改良により蔵王エリアの費用対効果も期待されると思う。蔵王エリアの開発計画とあわせて道路が改良されるようお願いしたい。

答 南蔵王エリアの開発と県道51号の改良の時期についてはこれから国・県のほうに要請、要望活動を行っていきたい。

一般質問 吉野一夫議員 1項目を問う



吉野一夫議員

- 問** 森林整備における各プランの状況は。
- 答** 関係者と協議を重ね、補助事業なども活用しながら有効な方法をとっていききたい。

森林整備

問 森林再生プランの中で道端事業と路網整備事業、木質バイオマス事業について伺う。

答 事業地の確保、施行団地の集約化の加速化、既存路網の有効活用を行うため、道端林業に着目し、人、組織、技術、機械、資金、所有者の意識改革による路網整備の推進、町産材利用の促進を行いたい。さらに、賑わい拠点施設の熱供給源として木質バイオマスを利用し、木材需要の加速化に取り組みたい。

問 道端推進事業について。①年次計画で町有林だけを最優先でやるのか。②各関係機関との調整はどのように進めるのか。③伐採後の植林は広葉樹にするのか、針葉樹と交えて混有林化を目指すのか。

答 ①町有林を中心に行う。②担当課で電力、NTT、宮城県、仙台森林管理署などと調整をし、参加してほしい旨の話をしている。③国が行っている補助事業を活用しながら随時植林を促していきたい。

問 路網計画を進めるにあたって必要な資格者は町独自で育成していくのか。

答 各事業者間で業者を養成していただく。

問 木質バイオマスの燃料となるチップは年間約500から600トン必要と思われる。その木材確保の考え方を伺う。

答 住民の手を借りる方法と地元の木材加工場に頼む方法があるが、専門家や関係者と協議を重ねたい。



▲木質バイオマスに利用されるチップ

問 チップを燃やすことで出る灰から放射性物質が検出された場合、東京電力の補償の対象になるのか。

答 8000ベクレル以下は一般廃棄物と指定されているので、おそらく補償対象にはならない。もし放射性物質が検出されなければ、農業関係者や林業関係者などからアドバイスをいただき有効な活用方法を検討したい。